

# 第169回実践勉強会 実施レポート

共催

第一三共株式会社

大田区薬剤師会

参加者75名

日時：2025年1月21日(水)19:45～21:15

演題：がん患者の疼痛治療のアンメットニーズに応える－化学療法誘発性神経障害（CIPN）について－

演者：東邦大学医療センター大森病院 緩和ケアセンター  
教授 中村 陽一 先生

質疑①

Q 末梢神経障害の治療は予防投与はないかもしれませんが、症状がでた早い段階で治療した方が効果はあるのでしょうか。

A 早い段階で開始した方がよい

質疑②

Q ロラゼパムは効果があるのでしょうか。

A 悪循環を断つ意味でロラゼパムは使用する。

質疑③

Q 感覚鈍麻に対して生活に支障がでると考えてよいのか

A その通り

質疑④

Q トレーシングレポートなどで報告する場合に記載すべき内容がありましたら教えていただけますでしょうか。

A 評価が難しい

質疑⑤

Q タキサン系投与時の予防方法について

A 抗がん剤投与中は冷却し痛みが出た場合は運動を提案する程度であり高い推奨ではない

質疑⑥

Q 慢性的な痛みになった場合の対応について

A 冷たいものを触るだけで痛いので冷えないように指導している

文責 第一三共（株）筒井